

原 著

強度近視における MYP2 領域のマイクロサテライト相関解析

山 根 敬 浩

横浜市立大学医学部視覚器病態学

要 旨： MYP2 は大規模な強度近視家系を用いた連鎖解析により最初に指摘された常染色体優性遺伝形式をとる強度近視の候補遺伝領域であるが、未だ疾患感受性遺伝子の同定には至っていない。今回私たちは屈折値 $-9.25D$ 以上の強度近視患者450例と正常対照者450例を対象として MYP2 領域にマイクロサテライトマーカーを35個、約100kb 間隔で設定し、高解像度の相関解析を行った。解析は1次スクリーニング、2次スクリーニングそれぞれで150人分の DNA を混合した pooled DNA 溶液を用いて行った。スクリーニングの結果 D18S0201i のマーカーのみが陽性となったが、偽陽性の可能性もあるため、個別タイピング (individual typing) を450例すべてのサンプルを用いて行ったところ、有意な相関は示さなかった。したがって、この領域内には日本人集団では強度近視の疾患感受性に関わる遺伝子は存在しない可能性が高いと考えられた。

Key words: 強度近視 (high myopia), マイクロサテライトマーカー (microsatellite marker), MYP2, 相関解析 (association study)